

【報告事項】

1 令和6年度福岡県警察剣道大会の実施について

（警務部）

警察本部から「令和6年度福岡県警察剣道大会を5月28日に福岡武道館において実施する。柔道大会については、今年度は参加所属の負担軽減のため1ヶ月の間隔を開けて実施することとした。」旨の報告があった。

公安委員から「剣道大会と柔道大会を一緒に開催しないのはなぜか。」旨の発言があり、警察本部から「大会の実施に当たり、参加する警察署等の意見を聞いたところ、大会の間隔を空けてほしいとの要望があったことから、今回は1ヶ月間隔を空けている。」旨の説明があった。

公安委員から「女性選手はどれくらいの剣道経験があるのか。」旨の発言があり、警察本部から「女性は3段以上と2段以下の組に分かれており、3段以上の有段者は子供のころからの経験者が多く、2段以下の者については、警察官になってから剣道を始めた者が多い。」旨の説明があった。

公安委員から「男女混合の団体戦は行っていないのか。」旨の発言があり、警察本部から「女性は個人戦のみである。」、「警視庁では男女混合の団体戦が行われているが、本県警察では行っていない。」旨の説明があった。

2 刃物・銃器使用事案への対処訓練の実施について

（地域部）

警察本部から「地域総務課ほか7所属は、令和6年5月20日、22日及び24日に初動警察活動に従事する警察官の現場におけるあらゆる事態への対処力の向上を図るため、各警察署の地域部門の指導担当者等を対象としたブラインド形式による対処訓練等を実施する。」旨の報告があった。

公安委員から「長野県で発生した事件を受けてとのことであるが、同種訓練はこれまで行っていなかったのか。」旨の発言があり、警察本部から「ブラインド形式の訓練はこれまで行っていなかった。」旨の説明があった。

公安委員から「視聴覚教材を作成するとのことであるが、本県警察のオリジナルのものであるのか。」旨の発言があり、警察本部から「本県で独自に作成するものである。」旨の説明があった。

公安委員から「どのような事案を想定して訓練するのか。」旨の発言があり、警

察本部から「秋葉原で発生したような無差別殺傷事件を参考として想定を作成する。」旨の説明があった。

公安委員から「訓練により練度を高めることにより、対処能力の向上に努めていただきたい。」旨の発言があった。

3 経済安全保障に関するアウトリーチ活動の取組状況について

(警備部)

警察本部から「企業等における技術情報等流出の未然防止対策を支援するため、外国からの働き掛けの手口やその対策に資する情報を提供するアウトリーチ活動を半導体・宇宙関連企業及び大学・研究機関等に対し、令和6年3月末までに524件実施した。アウトリーチ活動後、情報提供を受け、技術情報等の流出を未然に防止した効果事例もあり、対象企業等からリスクの重要性を再認識したという反響もあっている。今後も企業等に対するアウトリーチ活動の実施や経済安全保障セミナーの開催などを推進していく。」旨の報告があった。

公安委員から「経済安全保障に関することについては、県単位だけでなく国単位での取組が必要であると考えているが、他県とも情報共有しているのか。」旨の発言があり、警察本部から「本件取組については、警察庁から各都道府県警察に指示されたものである。各県の取組を情報共有し連携を図っている。」旨の説明があった。

公安委員から「講演以外には具体的にどのような取組を行っているのか。」旨の発言があり、警察本部から「直接企業等に出向き、指導を行うなどしている。」旨の説明があった。

公安委員から「情報流出などした場合、法令違反となるのか。」旨の発言があり、警察本部から「外国為替及び外国貿易法や不正競争防止法に抵触するおそれがある。」旨の説明があった。

公安委員から「技術の進歩により、経済安全保障に対する脅威は高まっており、アウトリーチ活動の重要性は高まっているので、引き続き効果的な取組を推進していただきたい。」旨の発言があった。